

年 月 日

(あて先)岐阜市保健所長

病院(診療所)の名称・住所

管理者氏名

診療用放射線照射装置装備届出書

下記のとおり診療用放射線照射装置を備えるので、医療法施行規則第26条の規定により届け出ます。

記

名 所	在 地	TEL () —	
診療用 放射線 照射装 置に関 する事 項	製 作 者 名		
	型 式		
	個 数	個	
	装備する放射性同位元素の種類		
	装備する放射性同位元素の数量	Bq	
診療用 放射線 照射装 置を使 用する 医師、 歯科医 師又は 診療放 射線技 師の氏 名及び 放射線 診療に 関する 経歴	氏 名	職 種	放射線診療に関する経歴

予 定 使 用 開 始 年 月 日			年 月 日			
診療用放射線照射装置の放射線障害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要	線源収納容器の遮蔽 (照射口閉鎖時)		1mの距離における空気カーマ率 70 μ Gy毎時 以下 ・ 超える			
	二次電子ろ過板		有 ・ 無 (理由)			
	照射口を遠隔操作によって開閉できる構造		有 ・ 無 (理由)			
診療用放射線照射装置使用室の放射線障害の防止に関する構造設備及び予防措置の概要	主要構造部等の構造		耐火構造 ・ 不燃材料			
	使用室の天井、床、周囲の壁、出入口の扉、窓等の遮蔽		画壁の外側における実効線量が1mSv／1週間 以下 ・ 超える			
	遮蔽物の構造・材料・厚さ等	天 井				
		周 囲 の 壁				
		監 視 用 窓				
		床				
		出 入 口 の 扉				
	その他の開口部					
	出入口の数		常時使用 箇所 そ の 他 箇所(用途)			
	放射線発生時その旨を自動的に表示する装置		有 ・ 無			
使用室を示す標識		有 ・ 無 (使用室の名称)				
貯蔵施設の放射線障害の防止に関する構造設備の概要	貯蔵施設の種類		貯蔵室・貯蔵箱等 ()			
	貯蔵施設の遮蔽		画壁の外側における実効線量が1mSv／1週間 以下 ・ 超える			
	出入口の数		常時使用 箇所 そ の 他 箇所(用途)			
	扉、ふた等外部に通ずる部分の鍵等		有 ・ 無			

	貯蔵施設を示す標識		有	・	無	
	受皿、吸収材等の汚染拡大防止設備、器具		有	・	無	
貯蔵室	主要構造部等の構造		耐火構造	・	非耐火構造	
	遮蔽物の構造・材料・厚さ等	天井				
		周囲の壁				
		監視用窓				
		床				
		出入口の扉				
	その他の開口部					
	特定防火設備に該当する防火戸(扉、空調ダクト等)		有	・	無	
貯蔵箱等	個数		個			
	構造		耐火構造・その他(理由)			
貯蔵容器	貯蔵容器の有無		有	・	無	
	容器の遮蔽(1mの距離における貯蔵時の実効線量率)		100 μ Sv/時以下	・	超える	
	貯蔵容器の構造、材料、厚さ等					
	気密な構造(空気を汚染するおそれのある状態での貯蔵)		適	・	否	
	こぼれにくい構造、液体が浸透しにくい材料(液体状態での貯蔵)		適	・	否	
	貯蔵容器の標識		有	・	無	
	貯蔵する放射性同位元素の種類及び数量の標識		有	・	無	
運搬容器の	運搬容器の有無		有	・	無	

放射線障害の防止に関する構造設備の概要	運搬容器の遮蔽 (1mの距離における実効線量率)		100 μ Sv/時 以下 ・ 超える
	運搬容器の構造、材料、厚さ等		
	気密な構造(空気を汚染するおそれのある状態での運搬)		適 ・ 否
	こぼれにくい構造、液体が浸透しにくい材料(液体状態での運搬)		適 ・ 否
	運搬容器の標識		有 ・ 無
	運搬する放射性同位元素の種類及び数量の標識		有 ・ 無
放射線治療病室の放射線障害の防止に関する構造設備の概要	放射線治療病室の天井、床、周囲の壁、出入口の扉、窓等の遮蔽		画壁の外側における実効線量が1mSv/1週間 以下 ・ 超える
	遮蔽物の構造・材料・厚さ等	天 井	
		周 囲 の 壁	
		監 視 用 窓	
		床	
		出 入 口 の 扉	
		その他の開口部	
	放射線治療病室を示す標識		有 ・ 無
	突起物・くぼみ及び仕上げ材の目地等の隙間の状況		適 ・ 否
	内部の壁、床等の表面の材質(耐浸透性、腐食しにくい材料)		適 ・ 否
診療用放射線照射装置の使用による放射線障害の防止に関する予防	管 理 区 域	管理区域の設定	添付書類(平面図)のとおり
		管理区域の境界(1.3mSv/3か月を超えない措置)	有 ・ 無
		立入制限措置	有 ・ 無

